

立命館大学アクティブライフ文化超創コンソーシアム
2018年度第1回セミナーを開催

立命館大学は、ICTを活用して人々の健康を高めることを目的とした、産学官地32団体（企業および自治体）が加盟する「立命館大学アクティブライフ文化超創コンソーシアム」の会員向け事業として、11月9日に、第1回セミナーを開催いたしました。

本セミナーは、アクティブライフ、すなわちあらゆる人が健康的で前向きに活動できる生活の創出に関わる「健康」や「ICT」を各回テーマに取り上げ、内外の実務経験者や研究者を講師に迎え開催するもので、異業種の会員同士が学びあい、社会課題の解決に向けた新たなビジネスモデルの創出を目指します。

第1回目となる本セミナーでは、「健康」をテーマに取り上げ、スポーツ健康科学部の田畑教授より、国レベルでの健康政策（『健康日本21』）と、一般財団法人近畿健康管理センター経営戦略本部経営企画グループチームマネージャー高力容子氏による地域レベルでの健康の実践（健診事業）を講演頂きました。

その後、新事業や新製品の投入が見込まれる医療・健康分野や、具体的な製品・サービス像について考える機会にすることを目的とし、ワークショップを実施しました。ワークショップでは、事業化手法である「二軸図法」を用いてアイデアを出し合い、会員同士が意見交換をするなど活発な時間となりました。

